



Nihon Clinic
日本クリニック



May, 2016

今月の健康ニュースレター (Monthly)



◆◆◆ 胃炎のお話し ◆◆◆

● 胃炎の種類

大きく分けると、急性胃炎と慢性胃炎の2つがあります。

1. 急性胃炎

様々な原因でおきますが、例えば、コーヒー、アルコール、香辛料、薬物（鎮痛薬、風邪薬、抗生物質等）、風邪や消化器感染など病原性、ストレスなどが原因となったりします。多くの場合、1日安静に過ごすことや、2~3日胃腸薬を服用することで治ります。



2. 慢性胃炎

常に胃に存在感を覚え、薬を飲み続ける人も多いです。一般的に胃粘膜に存在する胃腺が萎縮して、胃液の酸度が低下した状態を意味します。慢性胃炎の原因は、胃癌の原因でもあるピロリ菌が深く関わっているといわれています。

● 症状

胃もたれや空腹時あるいは食後の腹痛、食欲不振、胸焼けや吐き気（時に吐血すること）。



なかにはほとんど自覚症状のない場合もあります。

● 検査

状況に応じて、胃内視鏡検査、胃バリウム検査、便潜血、ピロリ菌検査などを当院では行っていません。慢性胃炎を調べるには、胃内視鏡検査で直接胃粘膜の状態を観察することが、確実な治療法に繋がります。

● 治療

原因がはっきりしている場合は、その原因を取り除きます。

市販薬では、胃酸の分泌を抑える薬(Zantac、Prilosecなど)や胃粘膜を保護する薬(Tums、Maaloxなど)がありますが、自己判断せずに医師にご相談下さい。

慢性胃炎は薬の服用をやめると再発することがあります。



● 予防

喫煙をしない。過度の飲酒をしない。コーヒー、お茶などカフェインを多く含む飲み物や香辛料などを控えめにする。十分な睡眠を確保する。などを心掛けるといいでしょう。

● 注意点

日本人は胃癌になる割合は他国と比較し突出して高いので、上記の対応でも症状の改善が無い場合は、医師に相談し、胃内視鏡検査などを検討しましょう。ピロリ菌感染や、胃内視鏡で萎縮性胃炎あるいは肥厚性胃炎を認める方は、胃癌なるリスクが更に高くなると言われていますので、定期的に胃内視鏡検査を受けることをお勧めします。



米国内の日本クリニック

CHICAGO

(847) 952-8910

SAN DIEGO

(858) 560-8910

Nihon Clinic

2010 S. Arlington Heights Rd.
Suite 101
Arlington Heights, IL 60005

予約:(847) 952-8910

内科:(847) 758-8080

小児科:(847) 640-5437

カイロ科:(847) 956-3250

ウェブサイトもご利用下さい。

Website: www.nihonclinic.com

E-mail: chicago@nihonclinic.com

